

事業会社の財務担当幹部・マネジャーの相互啓発・情報交流の会

第36期

グローバル財務戦略研究会

今期の研究目標

世界経済後退懸念による多様なリスクに備える財務戦略

第1回例会

日時: 2019年2月20日(水) 15:30~17:30 (17:30~19:00 懇親パーティー)

会場: 東京・麹町 企業研究会『セミナールーム』

15:30 基調講演『2019年度世界の株式・為替市場の見通し』

米中関係や中東情勢の緊張など世界の地政学要因は市場に大きな影響を与えています。すでに、リーマンショック後の安値から世界の株式相場の上昇は10年近くになり、相場は典型的な成熟過程にあります。そこで、世界の政治経済情勢を予測し、その上で、2019年度の株式・為替市場を展望します。



一橋大学大学院経営管理研究科 特任教授

シティグループ証券 顧問 藤田 勉 氏

略歴

2010年まで日経ヴェリタスアナリストランキング日本株ストラテジスト部門5年連続1位。
経済産業省企業価値研究会委員、内閣官房経済部市場動向研究会委員、北京大学日本研究センター特約研究員、慶応義塾大学講師を歴任。
一橋大学大学院修了、博士(経営法)。1960年生まれ
最近の著書 『バブル経済とは何か』平凡社新書 2018年9月、『フィンテック革命の衝撃』平凡社新書 2017年4月 他多数

17:30 懇親パーティー

19:00 ※第1回例会、第2回例会は入会を検討いただける方の参加も可能です。事務局担当までご一報お願いします。

第2回例会

日時: 2019年3月27日(水) 15:30~17:30

会場: 東京・麹町 企業研究会『セミナールーム』

15:30 『コニカミノルタのグローバル経営と財務マネジメント』

1. コニカミノルタの概要と課題認識
2. TMS 導入の狙い
3. TMS 導入の効果
4. 文書電子化と RPA 導入
5. 改訂コーポレートガバナンスへの対応



コニカミノルタ株式会社 グローバル財務管理担当部長 大森 弘之 氏

略歴

1980年ミノルタカメラ(株)入社、1989年から1994年まで米国・カナダの販売子会社でトレジャリー業務に従事。2000年ミノルタ(株) 財務部資金課長を経て2008年コニカミノルタホールディングス(株)財務部長に就任、大型M&A資金の調達、TMS導入などを統括。2017年グローバル財務管理担当部長として、テレワーク推進およびRPA導入、改訂CGコードなどに対応。

17:30

第36期 開催にあたり

本会合は業種・業態を超えた事業会社の財務担当部門長やマネジャーが集まり、企業財務をめぐる今日の課題に対する実践施策の探究を目的に1983年に発足いたしました。

月例会では、ゲストやメンバー企業の時流に即したテーマの講演があり、そして質疑応答やグループ討議の時間は活発な議論と本音の意見交換の場として機能しています。

ギブアンドテーク、そしてオフレコの会ならではの業種を超えた財務パーソンの人脈形成と活きた体験やノウハウの交流をはかることができます。

自社の財務部門のマネジメントや、悩み・課題を抱えたときに役立つ財務パーソンのネットワーク作りを希求しておられる熱意ある方々の参加を心からお待ちしております。

運営の基本

ー共に学び合い、活かし合い、そして残すー

- I. 異業種企業の財務担当部門の責任者・マネジャーが集い実務の中から得た体験、実例、知見ノウハウを相互に交流する。
- II. メンバー間の信頼関係に基づく、人的ネットワークを築き、情報交流の中から自社の課題解決のヒント、方策をつかむ。
- III. 研究討議成果を共に活かし、必要により報告（提言）書として残す。

運営要項

研究期間

第36期 2019年2月～2019年12月(全11例会)

原則として毎月1回、水曜日の15:30～17:30

会場

東京・麹町『企業研究会・セミナールーム』等を予定。

合宿研究会

研究交流の深化と親睦のために、年1回実施（伊豆・箱根など1泊2日(金)・(土)）。

メンバー構成

主登録：財務、資金、経理、金融担当幹部・マネジャー

※原則として毎例会には主登録の方が出席いただきますが、テーマ内容によっては、代理の方の参加も可能です。

運営体制

〈代表幹事〉 大田 研一 氏 (株)ポートフォリア 社外取締役 元 日本電気(株) 財務部長 元 山口大学大学院教授

【略 歴】 1971年、一橋大学社会学部卒業。同年日本電気(株)入社。以後、テキサス大学アーリントン校MBA コース留学、NEC アメリカ出向、NEC インダストリー系出向など約12年間の海外駐在を経て、日本電気(株)財務部長、財務主席主幹を歴任、2000年退社、ドイツ証券東京支店投資銀行本部マージング・ディレクター、ベンチャー企業、戦略コンサルタント会社等を経て2005年から2007年まで山口大学大学院技術経営研究科教授、2005年より2010年まで(株)アコーディア・ゴルフの監査役及び取締役常務執行役員。日本CFO 協会 主任研究委員。(社)企業研究会 参与。ほか要職多数。

〈運営幹事〉 ※メンバーの代表として研究活動の企画にご協力いただくと共に、全体討議、グループ討議ほかの進行・運営をリードいただきます。
(順不同)

岩本 重和 氏 新日鐵住金(株) 財務部 部長・海外財務室長
磯崎 真也 氏 (株)日立製作所 財務戦略本部 資金部 部長代理
荒川 義 氏 三菱重工業(株) グローバル財務部 Head of Treasury
諏訪原浩二 氏 日本電気(株) 財務部長
松岡 雄三 氏 アステラス製薬(株) 経営推進部 財務グループ リーダー
高塚 要 氏 デュボン(株) 執行役員 財務部長
増本 勝彦 氏 (株)ベネッセホールディングス 執行役員 財務・コミュニケーション統括本部長
萬成 力 氏 (株)ニフコ 執行役員 財務本部 財務・経理部長

〈アドバイザー〉 早瀬 勇 氏 元 金沢星稜大学 学長 元 鹿島建設(株) 顧問

【略 歴】 一橋大学経済学部卒。東京銀行入行。フランクフルト支店為替・資金課長、ルクセンブルク東銀directeur、東銀シドニー駐在員事務所長、豪州東銀行取締役。鹿島建設(株) 国際財務部長、鹿島ヨーロッパ社取締役副社長、鹿島本社顧問。経団連財政制度委員会企画部会委員。2001年金沢経済大学教授(国際金融担当)、02年同大学大学院教授、同年同学国際交流センター長、04年4月金沢星稜大学学長。08年3月金沢星稜大学学長を任期満了により退職。横浜如水会会長

運営方法

- メンバーの最も関心のあるテーマを取り上げるため適宜希望テーマを収集し、幹事グループが協議して具体的課題を設定します。
- 定められたテーマについて、メンバーによるケーススタディと問題定義をもとに、日常実務の申から得た事例とノウハウの交流を懇談会形式で進めていきます。
- テーマに応じて最適な外部ゲストを招聘し、専門知識の習得と活きた先進他社事例を学びます。
- アンケート調査を基に、より突っ込んだ意見交換を行います。

第1回
2/20 (水)

【基調講演】『2019 年度 世界の株式・為替市場の見通し』

一橋大学大学院国際企業戦略研究科特任教授 SBI大学院大学教授 シティグループ証券顧問 藤田 勉氏

第2回
3/27 (水)

『コニカミノルタのグローバル経営と財務マネジメント』

コニカミノルタ株式会社 グローバル財務管理担当部長 大森 弘之氏

第3回
4/10 (水)

『三菱ケミカルホールディングスのグローバル経営展開と財務マネジメント』(仮)

株式会社三菱ケミカルホールディングス 執行役常務 最高財務責任者 伊達 英文氏

第4回
5/15 (水)

『経理財務機能のアウトソーシングを活用した日系企業のグローバル展開』

日本アイ・ビー・エム株式会社 コグニティブ・プロセス変革 アソシエイト・パートナー 真藤 達也氏

●研究テーマの例示●

※月例会テーマは下を基本にメンバーの希望を伺い、運営幹事会で決定します。

第5回
6/12 (水)

1. 経営環境の変動と財務戦略への影響

- ①今後の米国の外交・経済政策
- ②Fintech による金融サービスと経理財務への影響
- ③コミットメントラインの活用状況～流動性力バレッジ比率の改訂に伴う影響～
- ④財務(資金)業務に関するAIの活用、RPAの導入事例

第6回
7/10 (水)

2. 2019 年、資金調達・運用における実務上の課題

- ①株主還元策 ～策定に当たっての留意点、株価との連関～
- ②流動性リスク、決済リスクへの対応策
- ③社債マーケットへの効果的なアプローチ手法
- ④自社株買いの基準と実施状況
- ⑤PMIの財務指標の考え方財務的な留意事項
- ⑥有価証券報告者の保有有価証券の記載について

《合宿研究会》
第7回
8/23 (金)・
24 (土)

3. グローバル・グループ財務活動とリスクマネジメント

- ①アジア新興国でのグローバルキャッシュマネジメントの最新動向
- ②海外グループ会社管理の課題と具体的取り組み事例
～財務マネジメント、業績評価、地域統括会社(金融子会社)、外貨、クロスボーダーによる資金調達・管理、ネットング、経営幹部の登用や本社のコントロール体制など～
- ③グローバル、グループ間での資金再配分(地域、通貨)

第8回
9/18 (水)

4. 財務組織の強化とマネジメント・人材育成

- ①組織上(グローバル)の位置づけ、推進組織体制、責任権限、CFOの役割
- ②財務業務のアウトソーシング、海外におけるシェアードサービス体制

第9回
10/16 (水)

《合宿研究会討議 テーマ案》

- ①キャッシュフロー経営の推進等の達成目標を社内に浸透させる具体的展開方策と財務の役割
- ②海外グループ会社の経理財務マネジメントのメンバー各社の対応
- ③M&Aにおける情報管理、推進体制、投資採算性基準他
- ④グローバルな財務スタッフの人材育成、確保、キャリアパス、生産性向上
- ⑤信用リスク管理の各社の考え方

第10回
11/13 (水)

《グループ討議 テーマ案》

- ①グループ、地域間での資金配分(資金融通、配当、親子ローン)と効率化
- ②デリバティブ活用の方針ヘッジ会計、ヘッジポリシー他ー
- ③金融機関との取引政策
ーガバナンスコード対応、株式持合対応、
ーメガバンク、地銀、外銀との付き合い方、調達手段・構成の考え方、競争原理
- ④CCCの活用と改善の取り組み
- ⑤キャッシュの有効活用、財務経営指標(KPI)の設定の考え方

第11回
12/4 (水)

2月21日	【基調講演】『「まさか」の時代の企業と経済』 日本経済新聞社 編集委員 滝田 洋一氏 <懇親会>
3月14日	【講演】『YKKの世界 6 極経営体制による 地域に根差した連結経営の取り組み』 YKK株式会社 執行役員 財務・経理部長 宮村 久夫氏
4月18日	【講演】『2018年 為替相場展望:不透明感を増す米国の通商・通貨政策』 シティグループ証券株式会社 外国為替・新興国市場本部 チーフFXストラテジスト 高島 修氏
5月30日	【講演】『ここだけは押さえておきたい為替リスク管理の進め方 5つのポイント』 —フレームワークと管理プロセスを最新のテクノロジーを用いて解説— PwCあらた有限責任監査法人 財務報告アドバイザリー部 シニアマネージャー 渋谷 幸平氏
6月13日	【グループ討議】 『事業環境のグローバル化進展と財務政策について』 —アンケートを基にしたメンバーレポートと意見交換— I. 資金調達戦略と方針 II. 財務経営指標の考え方とマネジメント III. グローバルなトレジャリー組織と Finance 保険
7月11日	【講演】『企業価値創造経営』 (元)HOYA株式会社 取締役・執行役 最高財務責任者 CFO 江間 賢二氏
8月24日 ・ 25日	【合宿研究会】 討議テーマ I. 株主還元策とコーポレートガバナンス II. グローバル為替リスクマネジメント ～交流シートを基にしたメンバーレポートと情報・意見交換～
9月12日	【メンバーレポート】 I. Mizkan のコーポレートガバナンスと財務マネジメント 株式会社Mizkan ASSET 財務部財務課長 吉田 智明氏 II. オリンパスの財務機能の体制と活動について オリンパス株式会社 財務部長 藤原 康俊氏
10月10日	【講演】『企業価値創造経営と CFO の役割』 (前)花王株式会社 執行役員 会計財務部門統括／一般社団法人 日本CFO協会 主任研究委員 青木 和義氏
11月16日	【講演】『コーポレートガバナンス・コード改訂のポイント』 ～開示例を踏まえながらその対応のあり方を解説～ アンダーソン・毛利・友常法律事務所 パートナー弁護士 塚本 英巨氏
12月5日	【講演】『企業価値を高める経理財務組織を目指して』 ～ビジネスパートナーとしての経理財務組織へ～ 日本ケロッグ合同会社 執行役員経営管理本部長 池側 千絵氏 <終了懇親会>

参加者の声

“激変するグローバル経済下で新たな一步を踏み出すために”

多くの日本企業が持続的な成長を求め、グローバルに事業拡大を行う中において、重要な経営資源である資金を管理する財務部門においても、グローバルな視点での業務遂行を求められています。しかしながら、変革の激しい昨今の環境において、多くの人が共通認識として持つ方向性のようなもの、すなわち過去の成功法則をそのまま当てはめれば上手くいくという時代では無くなってきました。

このような中、当社は第35期から「グローバル財務戦略研究会」に参加させていただくこととなりました。毎月の定例会では、高い知見のある講師の方による指針となり得る最新知識をご提供いただき、グループ討議では、各企業で財務・経理の知見を積み重ねてきたメンバーによる熱い議論が展開されるとともに、実務に活かすことが可能なノウハウを得ることができます。また、一泊二日の合宿や懇親会では、人的ネットワークを築くこともでき、研究会を離れた場においても、個別に意見交換をさせていただく機会を多々設けることができました。

第36期においても、より多くの皆さまにメンバーとしてご参加いただき、人的ネットワークを広げるとともに、互いに刺激し合い、多様な視点での議論を交わすことができればと期待しております。

第35期メンバー▶アズビル株式会社 グループ経営管理本部 グループ財務部 財務グループマネージャー
吉原 卓志氏

過去の研究目標：年間メインテーマ

- 第35期 「超金融緩和と政策転換を見据えた財務戦略」
- 第34期 「大転換期のグローバル経営を支える財務戦略の実践方策」
- 第33期 「グローバル金融環境の変化を捉えリスクを抑える日本企業の財務戦略を探る」
- 第32期 「激変する外部環境変化に備えたグローバル財務戦略の実践」
- 第31期 「脱デフレ・グローバル成長戦略を支える財務インフラの構築」
- 第30期 「転換期(政治、経済、金融etc)におけるグローバル財務戦略の実践方策」
- 第29期 「直面する金融危機下で重要性を増すグローバル財務戦略の新たな展開」
- 第28期 「急成長する新興国ビジネスを支えるグローバル財務戦略」
- 第27期 「デフレ経済下でのグローバル財務戦略の再構築」



第35期メンバーリスト

(株)ポートフォリア	社外取締役	日本たばこ産業(株)	財務部次長
新日鐵住金(株)	財務部 部長・海外財務室長	THK(株)	執行役員経営戦略統括本部財務経理統括部長
三菱重工業(株)	グローバル財務部 Head of Treasury	武田薬品工業(株)	財務統括部グローバルトレジャー&ファイナンスマネジメントヘッド
(株)日立製作所	財務戦略本部部長代理	(株)オリエンタルランド	経理部財務グループマネージャー
日本電気(株)	財務部長	NTTコミュニケーションズ(株)	財務部資金管理部門長
アステラス製薬(株)	経営推進部 財務グループ 課長代理	協和発酵キリン(株)	経理部財務グループ長
デュボン(株)	執行役員財務部長	日本郵政(株)	経理・財務部担当部長
(株)ベネッセホールディングス	執行役員 財務・コミュニケーション統括本部長	大阪ガス(株)	財務部ファイナンスチーム課長
(株)ニフコ	執行役員 財務本部 財務・経済部長	大王製紙(株)	経営管理本部 財務部財務第二課 課長
金沢星稜大学	前学長(元 鹿島建設(株)顧問)	オリンパス(株)	財務本部財務部長
清水建設(株)	資金部国際財務課長	(株)Mizkan Asset	財務部財務課長
川崎重工業(株)	財務部 財務管理課長	江崎グリコ(株)	ファイナンス部グループ長
日立キャピタル(株)	財務本部財務部調達グループ主査	黒崎播磨(株)	財務部決算資金管理グループ マネージャー
帝人(株)	財務部財務グループ課長	アズビル(株)	グループ経営管理本部グループ財務部財務グループマネージャー
住友重機械工業(株)	財務部長	東洋製罐グループHD(株)	財務部長

一般社団法人 企業研究会 プロフィール

(2018年10月現在／五十音順・敬称略)

昭和23年5月、敗戦後の混乱と荒廃の真只中に、当時の有力鉄鋼メーカー中堅幹部(主に経理部門)を中心にして、数人の学者及び経済安定本部調査課の人々からなるインフォーマルな研究懇親会が開かれました。

その後、自動車、造船、紡績、製紙工業などのメーカー有志も加わってくる中で一定の事務局機構を持つフォーマルな会員相互の研究機関への構想が打ち出され、同年12月7日、経済安定本部長官邸で正式名称を「企業研究会」として創立総会が開催されました。

当初、任意団体として発足した本会も研究活動の活発化と会員の増加に並行し、昭和31年3月31日通産大臣認可の社団法人に組織替えがおこなわれ現在にいたっています。

当会は平成25年に創立65周年を迎え、発足時から受け継がれた産・官・学共同による地道な実践研究の伝統は、現在40余りの研究交流事業やビジネス・スクールでの人材養成プログラムなどに見られるとおりますます強化され、比類なき研究機関として期待を集め、それを中心に多様かつ広範な活動が展開されています。

当会の歩みは戦後の経済成長を達成し、近年の国際経営・福祉社会の発展を担う企業の役割と軌を一にしているものといえましょう。

会 長	小枝 至
副 会 長	有馬 利男
//	伊藤 一郎
//	葛岡 利明
//	広瀬 道明
副会長・専務理事	石山 進
理 事	柴 敏治
//	鈴木 洋
//	津田 晃
//	内田 幸伯
//	池田 朋之
監 事	谷口 昌己
//	森田 和一
評議委員会議議長	牛尾 文昭
評議委員会議副議長	松本 佳久
評 議 委 員	天野 里司
//	太田 克彦
//	奥田 好秀
//	鹿島浩之助
//	川村群太郎
//	木村 隆秀
//	小島喜代志
//	杉岡 直人
//	田中 恭代
//	玉生 弘昌
//	長尾 裕
//	美野川久裕
//	羽藤 秀雄
//	吉武 博通

日産自動車(株)	元) 共同会長
一般社団法人グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン代表理事	
旭化成(株)	名誉会長
(株)日立製作所	業務役員専務
東京ガス(株)	取締役会長
一般社団法人企業研究会 (常勤)	
新日鐵住金(株)	代表取締役副社長
H O Y A(株)	代表執行役最高経営責任者
(株)西島製作所	社外取締役
一般社団法人企業研究会 (常勤)	
一般社団法人企業研究会	事務局長 (常勤)
公認会計士	
パナソニック(株)	客員
東芝ビジネス&ライフサービス(株)	取締役社長
元) 出光興産(株)	代表取締役副社長
(株)長谷工不動産ホールディングス	代表取締役社長
日鉄ケミカル&マテリアル(株)	代表取締役社長
アサヒグループホールディングス(株)	専務取締役兼専務執行役員
日本システムウエア(株)	取締役監査等委員
ダイキン工業(株)	特別顧問
古河電気工業(株)	取締役兼執行役員専務
日立キャピタル(株)	取締役
アヴァンセ・マネジメントコンサルティング	代表/城西大学経営学部 教授
旭化成(株) 人事部付シニアマネージャー	
元) 旭化成アミダス(株)	代表取締役社長
(株)プラネット	代表取締役会長
ヤマト運輸(株)	代表取締役社長
キャノン(株)	執行役員
住友電気工業(株)	常務取締役
公立大学法人首都大学東京	理事/国立大学法人筑波大学 名誉教授

参加要項

◆年会費(参加料):1 名につき

正会員	250,000円	—	一般	280,000円
	(税込価格 270,000円)			(税込価格 302,400円)

※資料代・通信費・飲食代を含みます。※合宿研究会費などは別途ご予定ください。
※一分割払い、お支払時期、請求費目などお気軽にご相談ください。
※「正会員」とは、(社)企業研究会に法人会員として登録していただいている企業です。

◆お申込方法：以下のお申込書に必要事項をご記入の上、下記までFAX でお送り下さい。

※企業研究会ホームページからの申込みも可能です。 [企業研究会](#) [グローバル財務戦略研究会](#) [検索](#)

〈体験参加について〉第1回例会(2/20)、第2回例会(3/27)は当会合の雰囲気などをご覧いただくため、入会を検討中の方にもご参加いただけます。以下申込書の「体験参加」の欄にチェックいただき必要事項をご記入の上、FAX にてお送り下さい。

◆お支払方法：ご参加者宛てにご請求書をお送り致しますので、その後、指定銀行口座にお振込下さい。

◆お問い合わせ：ご一報いただければ詳細なご説明に参りますので、お気軽にご連絡下さい。

一般社団法人 企業研究会 「経営管理」研究グループ 担当/居代
〒102-0083 千代田区麹町5-7-2
TEL : 03-5215-3516 FAX : 03-5215-0951
e-Mail : ishiro@bri.or.jp https://www.bri.or.jp

FAX : 03-5215-0951

事業コード 180017

『第36期 グローバル財務戦略研究会』申込書

- ☐ 会合の趣旨に賛同し、下記により参加を申込みます。
☐ 参加検討につき、体験参加を希望します。〈参加希望日 ☐ 2/20 ☐ 3/27 いずれかにチェックして下さい〉

年 月 日

会社名					会社所在地					
					〒					
氏 名	フリガナ									
TEL					所 属			役 職		
FAX					E-mail					
備 考										

アンケート(会合に期待すること、情報交換したい点など、ご記入ください。)

※本申込書にご記入いただいた個人情報、当会合に関する確認連絡および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。